

平成29年度入試【3年次編入学】

【地理学】

(法文学部 社会文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

問1 次ページの図表は日本における小売業の動向を示したものである。図表を見て下記の問いに答えよ。

- (1) 表1から日本の小売業が従業者規模の点でどのように変化してきたのかを説明せよ。(100字程度)
- (2) 図1を参考にして、下記の文章のA～Eに当てはまる言葉を、①～⑮の中から選択せよ。

都道府県別の1人当たり小売業売り場面積は東京、大阪、名古屋などの大都市圏では概ね(A)未満と小さいのに対して、それ以外の地方圏では大きくなる傾向にある。この背景には、(B)が中心である商店街と、郊外型大型店が立地するロードサイド型商業集積との力関係がある。(C)の高い大都市圏においては、百貨店などの一部の業態を除いて、鉄道駅付近などに小規模な専門店が高度に集積する商店街が都市商業の担い手としての役割を維持している。一方で、公共交通機関が貧弱で(D)が進んだ地方圏では、規模が大きく広い駐車場を備えた郊外型大型店が商業の中心となっている。このため多くの地方都市では商店街における(E)の増加が深刻な問題となっている。

- | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| ①1.5 m ² /人 | ⑥高齢化 | ⑪気圧 |
| ②飲食店 | ⑦外国人 | ⑫モータリゼーション |
| ③富裕層 | ⑧空き店舗 | ⑬グローバリゼーション |
| ④地価 | ⑨1.3 m ² /人 | ⑭犯罪 |
| ⑤人気 | ⑩小規模店 | ⑮1.1 m ² /人 |

問2 次の用語から3つを選び、簡潔に説明しなさい。なお、解答用紙には選択した設問番号および用語を記すこと。

- (1) ニュータウン
- (2) 促成栽培
- (3) 日本遺産
- (4) 排他的経済水域
- (5) 散村
- (6) 伊能忠敬

表1 小売業における従業者規模別の年間商品販売額の推移

単位:兆円

従業者規模	1966年	1972年	1979年	1985年	1991年	1997年	2002年	2007年	2014年
零細 1~4人	4.4	9.6	24.6	31.7	38.3	32.1	22.3	19.1	14.9
小規模 5~9人	2.2	6.1	15.3	22.0	28.8	28.5	24.4	24.0	20.9
中規模 10~49人	2.2	7.1	18.4	27.1	42.6	51.1	50.7	52.3	50.1
大規模 50人以上	1.9	5.5	15.3	21.0	31.1	35.9	37.7	39.2	36.4
総計	10.7	28.3	73.6	101.7	140.6	147.7	135.1	134.7	122.2

資料：経済産業省『商業統計調査』各年版から作成

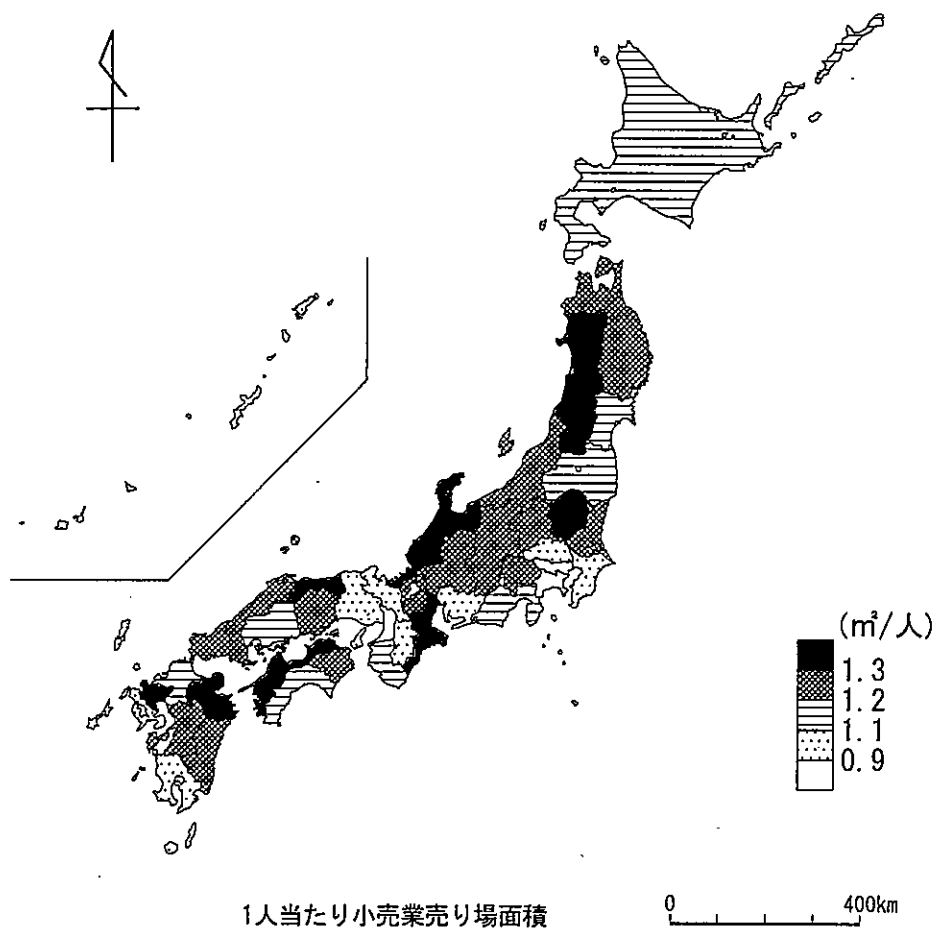


図1 都道府県別の1人当たり小売売り場面積

資料：経済産業省『平成26年商業統計』, 総務省『平成22年国勢調査』から作成